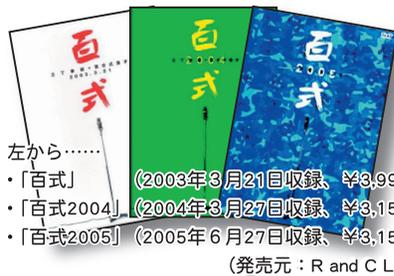


2丁拳銃・百分式漫才



左から……

- ・「百式」(2003年3月21日収録、¥3,990)
- ・「百式2004」(2004年3月27日収録、¥3,150)
- ・「百式2005」(2005年6月27日収録、¥3,150)
(発売元：R and C Ltd.)

※「百式2006」(2006年12月17日収録、¥3150)

5月30日発売予定!!



お笑いブームも終わりに向かっている感が否めないが、こんなときこそブームの陰で魅力あるスタイルを貫いてきた芸人たちの存在を知ってもらいたい。

今回紹介するのは、そうしたコンビの1つ「2丁拳銃」の単独ライブ「百式」を収録したDVDシリーズである。

2丁拳銃とは、1993年に結成された、吉本興業所属のお笑いコンビ。漫才の形そのものは正統派と言われるが、ひょうきんな風貌で力の抜けたボケをかます小堀裕之と、ハスキーボイスで鋭いツッコミを入れる川谷修上、この個性的な2人の掛け合いが秀逸で、第3回M-1グランプリ(2003)決勝第4位をはじめ、数々の実績を残している。現在は東京の劇場「ルミネtheよしもと」を中心に活動中である。

そんな2人が100分間ノンストップで漫才を見せるという斬新なイベントが、「百式(百分式漫才)」である。2002年から毎年1回の全国ツアーが行われ、2003年からはルミネtheよしもとで行われたものがDVD化されている。

背景に「百式」の文字、そして中央に1本のセンターマイク。これが舞台にあ

る全てである。殺風景な舞台で2人はひたすら漫才をする。短いネタをつなげる形だが、普段どおりの正統派漫才に加えて、ボケとツッコミが入れ替わるネタや、どちらもツッコまないシュールなコントなど、普段の2人が見せないスタイルのネタも繰り広げられ、2丁拳銃の芸の幅広さを知ることができる。漫才というありふれた形を取りながらも、100分もの長時間に多彩なネタを盛り込むことで変化に富んだ世界を生み出しており、濃密で見応え十分のイベントとなっている。

100分のネタを覚えて、お客を飽きさせずに笑わせつづけるのは至難の業だろう。それを実際にやってのけてしまう2人の力量、フロンティア精神、そして漫才への純粋な愛情。視聴率獲得に躍起になっているTV番組では見られない世界がここにはある。

TVで見るだけがお笑いではない。2丁拳銃のようにお笑いの新たな可能性に挑戦しつづける芸人もいるのである。最近笑うことを忘れがちだという方、TVのお笑いに飽きたという方は、「百式」を見てお笑いの奥深さを味わってみてはいかがだろうか？ (孟徳)



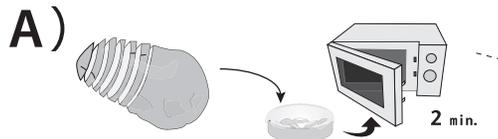
シンプルな料理です。
アレンジも自由です。(鴉)

材料(1人分)

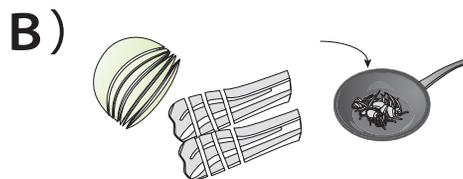
ジャガイモ	中1個
タマネギ	1/4個
ベーコン	2~3枚
塩コショウ	少々
油	適量

ジャーマン

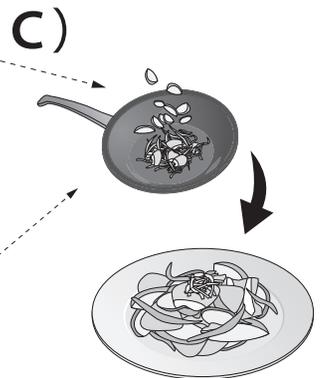
ポテト



輪切りにしたジャガイモを耐熱容器に入れ、ラップをして電子レンジで2分ほど加熱する。



タマネギとベーコンは適当な大きさに切り、フライパンで炒める。



Bに火が通ったらAを加えて軽く炒め、塩コショウで味を整える。皿に盛ってチーズなどをのせて完成。

はみだし
すてーじ

MDがこわれたので修理にもってたら、
⇒……続きはあ!?

(工・2 鳥インフルエンザ)
(こんな投稿もある) (編)